

会議速報

開催概要

- 名称：平成29年度 第2回新潟市食の安全意見交換会
- 日時：平成30年3月20日（火）午前10時から午前11時25分
- 場所：新潟市保健所 講堂（新潟市総合保健医療センター2階）
- 出席委員
浦上委員，乙川委員，加藤委員，瀬下委員，高橋委員，立山委員，浜田委員
- 市役所関係課(出席者名)
消費生活センター（小柳所長），保育課（関崎主幹，斉藤主査），食肉衛生検査所（佐藤所長），衛生環境研究所（大関次長，町永室長），農業政策課（青木係長），水産林務課（内山主査），中央卸売市場（佐藤係長），保健給食課（源川係長，堀越主査）
- 事務局
長井保健衛生部長
食の安全推進課（羽賀課長，石井課長補佐，廣川係長，飛田係長，齊藤係長，福島主査，齋藤主査，榎本主査，鈴木副主査，笠原技師，平山技師）
- 傍聴者 0名
- 報道関係者 0名

会議内容

（1）「新潟市食の安全基本方針」成果指標の現状値及び施策の一部修正について

資料1-1, 資料1-2, 資料1-3

平成29年度食育・健康づくりに関する市民アンケート調査結果から，平成29年度の成果指標の現状報告を行いました。

また，「新潟市食の安全基本方針（平成27年3月改定版）」の「IV 施策の推進」について，平成30年度の組織改正及び事業見直しによる修正案の説明を食の安全推進課から行いました。

< 主な意見・質問 >

- 市民アンケートの年齢構成で，60代以上が半数となっている。もっと若い人の回答がないと，全体を把握できないのではないか。
- アンケートの回答で，農薬や食品添加物に一番関心があり，かつ食の安全に関する情報提供が最も不十分とある。保健所としてこういったことの情報発信はしているのか。
- 保育施設の中でも，無認可保育園に対する監視はどのようになっているのか。

（2）食の安全基本方針に基づく平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画（案）

資料2-1, 資料2-2

食の安全基本方針に基づく平成29年度の実施結果，及び平成30年度の事業計画のうち，平成30年度の放射性物質検査の実施方針について食肉衛生検査所より，HACCP取り組み状況について食の安全推進課より説明しました。

< 主な意見・質問 >

- 平成30年度の HACCP 応用研修会では、平成29年度の「ブリの照り焼き」をまたやるのか、それとも何か考えがあるのか。
- HACCP による衛生管理計画を作成する際に、品目が多いと扱いきれなくなるので、いかにグルーピングしていくかが大切となる。それぞれの業界から色々なモデルが出ているので、それを参考にぜひやっていただきたい。
- 食品衛生協会に加入していない飲食店への普及が問題だと思うので、よろしく願いたい。

(3) 平成30年度食品衛生監視指導計画(案)及び市民意見募集結果について

資料3-1, **資料3-2**

平成30年度食品衛生監視指導計画(案)とその市民意見募集結果についての説明を食の安全推進課から行いました。

< 主な意見・質問 >

- 食肉処理施設に対し、食鳥処理場の件数が少ないように思うが、新潟は食鳥処理場が少ないのか。
- 食品表示について、一般消費者がわかりやすく勉強できる機会はあるか。
- 市民アンケートの結果から農薬や食品添加物に力を入れているが、実際に食中毒の原因として多いのは細菌やウイルスだと思うので、そちらにも重きを置いてほしい。

(4) 食品衛生に関する法律改正について **資料4**, **追加資料**

近く予定されている食品衛生法の改正について、その背景と概要の説明を食の安全推進課より行いました。

< 主な意見・質問 >

- 食のグローバル化によって、輸出入が増え、日本も世界の基準に合わせざるを得ない状況になることが予想されるだろう。
- 営業許可業種は法令業種のほかに、新潟県での許可があると思うが、そちらも整理されるのか。

議事の詳細については、後日あらためて掲載いたします。